

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 中央地区町会連合会

1 交付決定額	I	金 550,000円
---------	---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 中央地区福祉互助会事業				
実施主体	中央地区町会連合会 中央地区福祉互助会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	中央地区一円			
事業概要	<p>中央地区の独自事業として行う、地域住民による相互の支え合いの仕組み「中央地区福祉互助会」、生活支援を行う「かかわり隊事業」、高齢者への買い物支援を継続的に運用するもの</p> <p>【生活支援の内容】 ・買い物付き添い ・草取り ・庭木の剪定 ・ゴミ出しなど</p> <p>【買い物支援の内容】 ・ようこく朝市、城南あさ市の開催</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>困っている人、支援を必要としている人と、何かできればと思っている人、何とかしてあげたいと思っている人をつなげる仕組みの運営を通して、公的制度では対応できないサービスを提供し、中央地区の町会福祉を推進することができました。</p> <p>また、情報を一元的に管理して町会を超えた助け合いの制度運営を行うことで、中央地区をあげて見守り安心のネットワークづくり、地域包括ケアシステムの生活支援機能を担うことができました。(令和4年度実績151件)</p> <p>高齢者への買い物支援は、朝市の開催を通して気軽に話ができるお茶飲み処を設置し、コミュニケーションを図りました。ようこく朝市では綿あめの無料サービスを行い子連れ世帯の来場へ繋げました。城南あさ市では、公民館・福祉ひろばの開館20周年記念に合わせ、ポイントカードを導入、アンケート調査の結果、生産者と主催者の顔の見える関係や宅配サービス、ポイントカード導入について評価が高く、来年度もポイントカード制を継続することとなりました。</p>			
課題	「かかわり隊員」が高齢化しており、担い手が十分に育っていない。 活動について地区内への周知が必要。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	357,684円	235,778円	4,720円	117,186円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 中央地区 中央っ子応援団推進事業	
実施主体	中央地区町会連合会 大手公民館 中央地区子ども会育成会 中央地区民生委員・

	児童委員協議会ほか			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	中央地区一円			
事業概要	<p>コミュニティ・スクール事業を基盤とし、中央地区に関係する開智小学校・丸ノ内中学校への支援や、児童生徒と地区住民との交流・関係づくりを通じて、子どもたちを地域で見守り、地域の力として活かす支援体制を整備するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動や緑化推進等を通じて、地域の活性化を図る。 ・子どもを支援する事業、世代間交流を推進する事業を実施する。 			
地域づくりの成果・効果	<p>下校時の見守り活動を月2回、第2・4水曜日に、地区内の各種団体で手分けをして実施する体制をとることができました。</p> <p>また、「丸ノ内中学校との交流」の中で、コロナ禍ではありましたが、松本城西公園花壇の花の植替えと丸の内中学校のプランターの花の植え替えを中学生と住民が一緒に作業する場面をつくることができました。予定していた消耗品の購入が必要なくなったため支出はありませんでした。</p>			
課題	<p>「中央っ子応援団」活動については、各種団体の協力は得られているものの、組織への理解、底辺拡大や活動機会の確保などに課題がある。また、コロナ禍により、子どもたちとの交流の機会が減少している。</p>			
決算額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	0円	0円	0円	0円

③ 事業名：中央地区 災害時要援護者優先避難所備蓄品整備事業				
実施主体	中央地区町会連合会 中央地区防災部 大手公民館災害時要援護者避難所運営委員会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	大手公民館他			
事業概要	<p>大規模災害時、災害時要援護者優先避難所の設置の際に必要な備蓄品を購入し、避難者に対して提供できる体制を地区として整えるもの</p> <p>また、避難所運営委員会での学習事業を通して、現状の課題を整理しマニュアル等の見直しを図る。</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>大手公民館が市地域防災計画「要援護者優先避難所」として位置付けられており、地区住民による「避難所運営委員会」を設置・運営しました。(隔月開催)</p> <p>今年度は初の夜間訓練を行い、検証結果からヘッドライトの購入を進めたほか、賞味期限切れの備蓄食料の買い替えを行いました。活動の継続及び備品購入によって、災害時における迅速な対応が可能となりました。</p> <p>ペットゲージの寄附を受け入れたことで、ペット同伴の避難に対応できるようになりました。</p>			
課題	<p>災害発生時の体験を生かした、備品の配置見直しが必要です。</p> <p>避難所の取組みが一部の役員にしか知られていない現状があります。地区内への周知が課題です。</p>			
決算額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	76,972円	64,222円	0円	12,750円

④ 事業名：中央地区 居場所づくり推進事業				
実施主体	中央地区町会連合会 大手公民館 大手公民館図書・視聴覚委員会			

実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	中央地区一円			
事業概要	<p>日々変わっていく街並みの様子を将来にわたって記録を残す体制をつくと同時に、過去の映像を掘り起し、記録として整理する一方で、こうした映像を活用して、昔の思い出話を語る場をつくとともに、出された話を記録としてまとめます。</p> <p>こうした活動をきっかけに、各町会への居場所づくりを推進する。</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>市をはじめとする様々な事業や経済活動により、変わってしまう街並みを記録し、整理する体制を整備することで、将来にわたって街の変化を記録していくことが可能となった。</p> <p>また、思い出話を語る場を身近なところにつくることで、地域包括ケアシステムの「場づくり」につながるとともに、「生活の記録」を残す作業にもつながった。</p> <p>予定していた印刷製本を行わなかったため、支出はありませんでした。</p>			
課題	<p>公民館の20周年記念後も継続できる、地域包括ケアシステムの「場づくり」にもつながるよう、身近な「町会」や「隣組」を単位に仕掛けていく必要があります。</p>			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	0円	0円	0円	0円

⑤ 事業名：中央地区 健康づくり推進事業				
実施主体	中央地区町会連合会 健康づくり推進員 体力づくりサポーター 健康タイムス編集委員会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	中央地区一円			
事業概要	<p>「健康」「健康づくり」に関わるさまざまな立場の皆さんの相互理解を深めながら、つながりを作るために、中央地区や地区内の各町会に、「だれもが閉じこもりにならずに安心して出かけられる多様な場づくりを」を進めることを目標として、健康づくりワークショップを開催し、地区住民の健康づくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりワークショップの開催 ・地区健康タイムスの発行 			
地域づくりの成果・効果	<p>ワークショップ、健康タイムスの発行はありませんでしたが、地区内の担い手である健康づくり推進員、体力づくりサポーター、音健士等で、一緒に地区の健康づくりを考える「場」を作ることができました。</p> <p>また、健康づくり推進員の在り方について、地区内の会議で協議し、廃止後の体制を整えました。</p>			
課題	<p>年度内に発行を予定していた健康タイムスの発行が遅れたため、来年度発行します。</p> <p>健康づくり推進員廃止後の体制について、引き続き住民の健康増進が図れるよう取組みが必要です。</p>			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	0円	0円	0円	0円

⑥ 事業名：大手公民館開館20周年記念特別事業	
実施主体	大手公民館開館20周年記念特別事業実行委員会
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
実施場所	中央地区一円

事業概要	令和4年度に大手公民館が開館20周年を迎えたため、中央地区の絆つながりを作るために、講演会、3世代交流キャンプ、記念式典、記念誌の発行および各種事業を開催したものです。			
地域づくりの成果・効果	各種事業を行うことで、中央地区の絆づくりを行うとともに、世代間交流や、居場所づくりにつなげることができました。コロナ禍ではありましたが、メインイベントである記念式典を盛大に開催することができました。			
課題	地区内への事業の進捗状況の周知方法に課題がありました。 また、反省点を踏まえた時期周年事業への開催につながるよう、各種記録を残す必要があります。			
予算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	2,772,325円	150,000円	0円	2,622,325円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決算額(計) (①+②+③+④+⑤)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	3,206,981円	450,000円	4,720円	2,752,261円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:中央地区災害対策基金 資金積立事業					
積立目的	地震や洪水、大雪などの大規模災害時における必要物資の購入や除雪費用を速やかに調達するための資金を確保するとともに、これを通じて災害時に対する住民の安心を確保することを目的としています。				
積立期間	令和元年度から 令和5年度まで (本年度 4年目)				
積立ての目標金額	500,000円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計	
	前年度までの積立経過	1年目	100,000円	100,000円	0円
		2年目	100,000円	100,000円	0円
		3年目	100,000円	100,000円	0円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績	D	100,000円	E 100,000円	F 0円
合計額		400,000円	400,000円		
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体	中央地区町会連合会				
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日				
実施場所	中央地区一円				
事業概要	地震や洪水、大雪などの大規模災害に備えて、必要となる資金を基金として積み立てを行い、緊急時に必要な物資(発電機、燃料、トイレ等)の調達や人材の確保				

	保、大雪災害時における業者への除雪委託費用(積雪30cm以上)などに充てたものです。		
地域づくりの成果・効果	大規模災害時を想定して、物資だけではなく資金を積み立てて確保しておくことで、地区としての備えや住民の安心の確保に繋がられます。		
決算額	E+G	財源内訳	
		E	G
	100,000円	100,000円	0円
充当後の積立事業取扱方針			
(積立継続) 令和5年度まで)・廃止			
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法			

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0円
-------	---	----

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$